



HOSODA  
JUNIOR  
HIGH SCHOOL

学校だより 令和5年6月号

日南市立細田中学校

文責 校長

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4206/>



## 中学校説明会で「答え」を創り出した生徒たち

5月25日に、小学校6年生とその保護者を対象にした中学校説明会がありました。

始業式で「自分で考え、自分で答えをつくる経験」を積み重ねてほしいという話をしましたが、中学校説明会がまさに、生徒19名で創り上げた「答え」の一つとなりました。



1年生は、入学して2ヶ月も経たないうちに、ここまで成長するのかと驚かされました。2年生には先輩としての自信、3年生には細田中学校を背負う覚悟を感じました。

中学生全員に出番があり、タブレットを使って小学生にわかるように学校の紹介をしました。小学生から中学校生活に関する質問がありましたが、生徒が自分の言葉で的確に回答し、思わぬ拍手をいただく場面もありました。生徒と先生で知恵を出し合って作成した学校紹介動画は、細田中の強み「『一人一人が主役』『みんな仲よし』『きめ細かな指導』」を紹介したもので、途中でくすすと笑わせる場面があったり、真剣な場面の紹介があったりするなど、メリハリがあり、観ている人に笑顔が生まれました。体育の体験授業では、笠牟田先生によるソフトテニスの基礎基本の指導の後、小・中学生が一緒に目標に向かいました。

丁寧な準備、中学生から小学生への優しい声かけ、何事にも一生懸命で前向きに仲良く取り組む中学生の姿。おもてなしや細田中の良さを伝えたいという気持ちがきくと伝わったと思います。

参加してくださった皆様、暑い中においでいただき誠にありがとうございました。中学校生活についてもっと知りたいことがあれば、いつでも学校にご一報ください。[0987-27-0497]

## 人権について考える週間

5月29日からの1週間は人権について考える週間でした。人権教育担当の野脇先生が4月から準備してくださった教材を使って、全校生徒で話し合い活動を行いました。コミュニケーションを豊かにするスキルを身に付けるため、自分の不満や謝罪の気持ちを相手に伝えるにはどうすればよいかということを考えるという内容です。あなた、私、どちらも世界に一人。どちらも大切。相手に何かを伝えるとき、内容だけでなく言い方を変えると、誤解が解け、理解しあえることを実感していました。



さらに、別の時間には、県教育委員会から出されている「ファミリーふれあい」という人権啓発資料を読み、それぞれが人権についての考えを深めました。少人数ですが、価値観を通わせる場面を多く設定してくださる本校の先生方にも感謝です。生徒の感想の一部を抜粋して紹介します。

- ・一人一人好きなことや夢は違うけど、その目標に向かって頑張っているときの瞳は生き生きしている。
- ・日常生活で、冗談やネタとして、男だから、女だからと言ってしまうことがあった。
- ・男女問わず、自分の好きなことやものにまっすぐなのは自分とちゃんと向き合っているから。
- ・障がいのある人は差別や偏見によって生きづらい「普通」を過ごしているのではないかな。
- ・誰でも、自分のやりたいことや好きなことができる社会はすばらしい。そんな社会になってほしい。
- ・新しいことに出会ってたくさんのことに挑戦することが大切。

### 「大人も子どもも共に、人権感覚。あらゆる場において、人権教育・啓発」

上・下線部は、私が先日受けた人権教育研修会での学びの抜粋です。社会教育における人権教育の意義・目的の中に「人権感覚を育成する」という言葉がありました。人権感覚とは、『人権上問題のある出来事に接した場合、直感的におかしいと思う感性』『人権尊重を基本においた行動が、無意識のうちにその言動に現れるような感覚』のことだそうです。

難しいですが納得です。子どもたちの言葉から、大人がはっとさせられることがあります。

日南市の中学校の制服が統一され、選択制となった変革の観点の一つが多様性への配慮であります。学校、地域、家庭それぞれで子どもを囲みながら大切なことを学び続けていきたいものです。

保護者の皆様、人権週間の取組でお子様がどのような考えをもったのかお話をさせていただきます。そして、気になることがあれば、いつでもお話をお聞かせください。



感動の中総体激励会の後で。この子どもたちの笑顔を守るために・・・



### 7月の主な行事予定 詳細は、個別の連絡でご確認ください。

3日(月)租税教室 4日(火)PTA総務委員会 7日(金)高校説明会 10日(月)薬物乱用防止教室  
12日(水)県大会激励会 13日(木)英検IBA 21日(金)終業式